

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 簡易水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	簡易水道事業(管理費全般)				
所管課	501	水道部総務課	(水道局)		宇陀市簡易水道事業特別会計予算		
事業の目的	水道法の規定に基づき、水道事業を実施。給水人口13,016人(平成24年11月)の加入者に安心・安全・安定した飲料水の供給を目指して、水道施設の管理・運営を行っている。				区分 No.	区分名	
					款	1	総務費
					項	1	総務管理費
					目	1	総務管理費
細目	1	総務管理費					
根拠条例等	「宇陀市簡易水道事業等に関する条例」「宇陀市簡易水道事業給水条例」						
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備						
H25年度事業の概要	①賃金 2,492 ②需用費 52,410 ③役員費 14,025 ④委託料 17,681 ⑤使用料 7,551 ⑥原材料費 71,071 ⑦負担金 119,331 ⑧積立金 11,641 ⑨公課費 11,219 ⑩その他の費用(報酬、旅費、償還金等) 190 ⑪公債費 288,129 ⑫予備費 1,000				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果 電気料金の値上げ、テレメーターリース料の追加、料金システムの更新等増額が見込まれるが、できる限り総務管理費の削減を目指して予算編成を行ったところ前年度当初予算額より1,636千円の減額となった。 また、起債発行額が償還額を上回らないよう整備事業を計画的に実施した結果、公債費が前年度より1,225千円の減額となった。 以上削減に取り組んだものの、一般会計から285,652千円の繰入(昨年度比較9,921千円の減額)が必要となる。				分担金		
使用料							
国費							
県費					11,509		
市債							
その他					18,988		
一般財源					566,243		
H25予算額					A 596,740		
H24当初予算額	B 600,601						
H24現計予算額	605,270						
増減額	A-B ▲ 3,861						
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		599,634	594,029		県費補助金 11,509千円 施設基金繰入金 18,856千円 財産収入(利子) 132千円 計 30,497千円		
従事職員数【人工】		/					
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)		599,634	594,029				
活動指標名		年間総配水量					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績		1,445	単位	千m ³	1,401	単位	千m ³
単位当たりコスト(円)		415,029		424,004			
事業の目標	今後とも、安心・安全・安定した飲料水を供給するとともに経費削減(特に簡易水道事業の場合は、有収率<平成23年度実績76.91%>の向上等)を図るとともに、現在8種類の料金体系の統一を行ったのち、支出の状況・を料金体系を定め、一般会計からの繰入金の減少に努めてまいります。 また、整備事業を計画的に実施し、起債残高の抑制に努めます。				備考		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 簡易水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	簡易水道統合整備事業(大宇陀中央・東部)【再掲】					
所管課	501	水道部総務課	(水道局)		宇陀市簡易水道事業特別会計予算			
事業の目的	心の森福祉ゾーン一帯は、丘陵地に位置していることから、中央簡易水道区域としては水圧・水量共に日常苦慮している状況にあり、一時的に南部簡易水道区域からの水により補充している。この地域周辺の水量、水圧不足を早期に解消するため中央・東部簡易水道を連絡管にて結び水道施設改善整備を行う。				区分 No.	区分名		
					款	1	総務費	
					項	2	施設整備費	
					目	1	施設整備費	
細目	10	施設整備費						
根拠条例等	水道法第15条							
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備							
H25年度事業の概要	舗装復旧工事 舗復旧面積 A=4,800㎡				財源の内訳 (単位:千円)			
	事業の成果 平成22年3月に事業認可を得た中央・東部簡易水道区域は、ひとつ大宇陀簡易水道事業給水区域となった。福祉ゾーンとしての施設をより充実し安全・安心な水が安定して供給されるようになり、災害時の避難場所としての機能をもつ貯水槽も建設された。				分担金			
使用料								
国費					4,250			
県費								
市債					12,700			
その他					50			
一般財源								
H25予算額					A	17,000		
H24当初予算額	B	17,000						
H24現計予算額								
増減額	A-B							
事業のコスト			平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)			18,395	17,001	国庫補助金 4,250千円 簡易水道事業債 12,700千円 施設基金繰入金 50千円			
従事職員数【人工】			0.20	0.20				
人件費(人工×8,000千円)			1,600	1,600				
総事業費:人件費含む(千円)			19,995	18,601				
活動指標名			進捗率					
活動指標の算式			実施済事業費/全体事業費					
活動指標の実績			67.0	単位	%	83.0	単位	%
単位当たりコスト(円)			298,433			224,108		
事業の目標	心のもり福祉ゾーン一帯の水圧・水量不足の解消。南部簡易水道施設の稼働率を100%から正常な70%に戻す。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト 【生活基盤の整備】 (2)水道給水区域の拡大		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 簡易水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市第5受水池建設事業【再掲】			
所管課	501	水道部総務課 (水道局)	宇陀市簡易水道事業特別会計予算			
事業の目的	奈良県水道局は、平成26年度に室生大野・三本松へ県営水道を送ることが現実となった。このことから室生川の水利権が自動消滅する暫定水利であることや、内山浄水場の老朽化に伴う大改造に多大な経費を費やす必要がなくなったこと等により、三本松に受水池を建設し県営水道に切替え、古大野飲料水供給施設と統合整備することとした。			区分 No.	区分名	
				款	1	総務費
				項	2	施設整備費
				目	1	施設整備費
細目	10	施設整備費				
根拠条例等	憲法25条及び水道法第15条					
総合計画	基本計画 第3章 第5節 上下水道の整備					
H25年度事業の概要	①受水池電気計装設備及び敷地内配管工事 市道復旧工事 L=523m			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	現在、宇陀川と室生川を原水として内山浄水場で水をつくり、三本松配水池にポンプ加圧して溜めています。これを県営水道の水源に切り替えることにより浄水場の運転経費及び維持管理経費削減につながります。古大野飲料水供給施設においてもこの給水区域と統合することにより、室生中央簡易水道区域として安全・安心な水が安定的に供給できる。			使用料		
				国費	17,725	
				県費		
				市債	53,000	
				その他	5,359	
				一般財源		
				H25予算額	A 76,084	
				H24当初予算額	B 155,000	
				H24現計予算額		
				増減額	A-B ▲ 78,916	
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	12,774	299,201	国庫補助金	17,725千円		
従事職員数【人工】	0.30	0.30	簡水債	26,500千円		
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400	過疎債	26,500千円		
総事業費:人件費含む(千円)	15,174	301,601	基金繰入金	5,359千円		
活動指標名	進捗率					
活動指標の算式	実施済事業費/全体事業費					
活動指標の実績	2.1	単位 %	50.4	単位 %		
単位当たりコスト (円)	7,225,714		5,984,147			
事業の目標	簡易水道各施設の維持管理経費の削減。 宇陀市民が安心して暮らせる生活環境づくり。			備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト 【生活基盤の整備】 (2)水道給水区域の拡大		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 簡易水道事業特別会計

事業区分	新規	事業名	その他施設整備費				
所管課	501	水道部総務課	(水道局)		宇陀市簡易水道事業特別会計予算		
事業の目的	(1)宇陀市簡易水道拡張に伴い、施設整備した地域について、地形図の入力及び配管路を出来高竣工図から、パソコンへ入力を行い、今後の施設管理に役立ていく。 (2)国庫補助金を受け、整備事業を円滑に行い、安心・安全・安定した飲料水を供給するために奈良県簡易水道協会に負担を行う。 (3)市道・県道・国道及び河川改修工事に伴い、既設管の移設工事も併せて実施する。				区分 No.	区分名	
					款	1	総務費
					項	2	施設整備費
					目	1	施設整備費
細目	10	施設整備費					
根拠条例等	水道法第15条						
総合計画	基本計画 第3章 第5節 上下水道の整備						
H25年度事業の概要	(1)道路台帳更新委託料 700千円 (2)簡易水道協会負担金 476千円 (3)受託工事費 ①左近橋架け替え工事に伴う水道管移設工事 13,000千円 ②国道370号線野依交差点改良工事に伴う移設工事 12,000千円 ③県道上笠間三本松停車場線改良工事に伴う移設工事 9,400千円 ④市道オケ辻藤井線災害復旧工事に伴う移設工事 6,700千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	簡易水道事業を実施するにあたり、平成23年度では、39,652千円の国庫補助を円滑に受け、平成24年度でも59,920千円の補助金を円滑に受け取る見込みである。 また、大熊地内の施設整備済み箇所の台帳整備を行っていく。				分担金 使用料 国費 県費 21,980 市債 5,200 その他 15,095 一般財源 1 H25予算額 A 42,276 H24当初予算額 B 78,699 H24現計予算額 98,926 増減額 A- ▲ 36,423		
事業の成果							
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	97,270	196,464		県補償費 21,980千円 過疎債 2,600千円 簡水債 2,600千円 施設基金繰入金 15,095千円			
従事職員数【人工】	/						
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)	97,270	196,464					
活動指標名	整備済区域世帯						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	5,983	単位	戸	5,991	単位	戸	
単位当たりコスト(円)	16,258		32,793				
事業の目標	当事業は、長年にわたり拡張してきている水道管が、どの位置にあるか、正確な台帳を目指す。				備考		